

[03_05]九州大学大型計算機センター広報 : 3(5)

<https://doi.org/10.15017/1467970>

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 3 (5), pp.1-42, 1970-10-12. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :

編 集 後 記

広報 Vol.3 No.5 をお届けします。去る9月19日に北海道大学において大型計算機センターの開所式が行なわれました。昭和40年に開設された東京大学大型計算機センターに続いてこれで6大学に全国共同利用のセンターが出来上ったこととなります。来年度開設の予定で準備が進められている名古屋大学を含め、各大型計算機センター、各センター利用者がお互いに協力することにより増々発展して行くことを期待しています。

解説の欄は前回まで続いていました“ファイルの話”を終り、九大工学部の牛島講師に“FORTRANを基礎にしたプログラミング言語について”と題して執筆願いました。今回はその入門編。次回より実際のプログラミング言語の例をあげて解説いただく予定です。また SOL,LP などと言った応用プログラムについても簡単なチェックを終りましたら順次紹介して行きたいと考えています。

8月7日に運営委員会が開かれましたがその際、端末18局の設置が認められましたので、いよいよ10月よりセンター外の端末によって T. S. S が実験されることとなります。9月25日には今回設置される大学、研究室の方に対して端末機器取り扱い方法の説明会が開かれました。時間が限られていたためにあまり実質的なジョブは実行できませんでしたが、今後週2回程度（現在は火曜の午前と土曜の午後）を T. S. S. 実験のために計算機を開放しますので大いにご利用ください。とは言うものの T. S. S. は実験段階です。種々トラブルが発生する可能性もありますが、将来の本格的利用を目指しての実験ですから、利用者の方々のご協力をお願いします。

秋も深まりますと計算・穿孔の依頼件数が増加してきます。利用者の方々にはご迷惑をおかけいたしました。8月下旬の機器構成変え第一期工事が無事終了したことによってコアが増設されジョブ処理効率があがっています。センターを直接利用なさっている方は変更の効果を感じられていることでしょう。現在システム・ダウン等の障害が起きない限り、Aジョブ20分以内というターン・アランド・タイムは保たれています。なお穿孔の返却が遅れてきているようです。穿孔に関しては遠隔地優先の方針をとっていますので、九大内の利用者の方はできるだけオープン・パンチ室をご利用いただくようお願いいたします。

(津 田 記)